2011 年 1 月 28 日

野村不動産ホールディングス株式会社

（コード番号：3231　東証第一部）

報道関係者各位

2011年３月期第３四半期連結決算のお知らせ

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区　取締役社長：鈴木　弘久）は、本日、2011年３月期第３四半期連結決算（2010年４月１日～2010年12月31日）を確定いたしましたので、お知らせいたします。なお、詳細については、「平成23年３月期　第３四半期決算短信」を併せてご参照ください。

＜ハイライト＞

■2011年３月期第３四半期における連結業績は、売上高が2,435億円（前年同期比11.8%減）、営業利益が192億円（同37.6%減）、経常利益が73億円（同63.6%減）、四半期純損失が73億円（前年は93億円の純利益）となりました。前年同期比で売上高・営業利益・経常利益が減少した要因は、住宅事業セグメントにおいて、前第１四半期に高収益かつ大規模の分譲マンションの売上計上があった一方で、今期における売上計上（引渡）戸数の約７割が第４四半期に集中すること等によるものです。また、四半期純損失となった要因は、当第３四半期において、不動産ローン担保証券（CMBS）に係る営業エクイティ投資評価損147億円を特別損失として計上したこと等によるものです。

■住宅事業セグメント・・・マンションと一戸建てを合わせた住宅分譲部門において、売上計上（引渡）戸数が前年同期比で484戸減の1,528戸に減少したことから、当セグメントの売上高は前年同期比で35.6%減の969億円にとどまりました。一方で、マーケット環境は好調が持続していることから、契約済未計上戸数は、前年同期比で2,546戸増の4,592戸まで積み上がっております。

■ビル事業セグメント・・・12月末時点の空室率は4.1%となり、９月末から0.9ポイント改善いたしました。これは、昨年春に竣工した新築ビルのテナントリーシングが進捗したことに加え、昨年10月に「日本橋室町野村ビル」が満床にて開業したこと等によるものです。

■資産運用開発事業セグメント・・・昨年11月に「野村不動産プライベート投資法人」が運用を開始いたしました。同投資法人への物件売却により、当セグメントの売上高は前年同期に比べ約２倍に増加しましたが、第２四半期に私募ファンドへの出資分に関する営業エクイティ投資評価損を売上原価に計上したことにより、営業利益は微減となりました。

■通期業績予想・・・昨年12月16日に通期連結業績予想の修正を開示しておりますが、その後の進捗状況、および今後の見通しを勘案した結果、予想数値の変更はありません。

以　上

（添付資料）

平成23年３月期　第３四半期決算短信

本件に関するお問い合わせ窓口

野村不動産ホールディングス株式会社　広報IR部（石川・津賀・平野）

TEL03－3348－8117　・　FAX03－3343－0445